

## 防疫対策の徹底をお願いします！

### 1. 農場への侵入防止対策（病原体を持ち込まない）

- 農場や畜舎出入口での消毒の徹底しましょう
  - ・ 衛生管理区域に出入りする車両の消毒
  - ・ 立入者の手指、靴の消毒
- 農場専用衣服、長靴の着用を行いましょ
  - ・ 立入者に対し、農場出入口からできるだけ近い場所で更衣、履き替えを求めましょう  
(衣服の上から着用するもの、ブーツカバー等でも可)
- 入場者の記録を徹底しましょう
  - ・ 万が一の際、追跡調査に必要です

### 2. 他農場への伝播防止対策（病原体を持ち出さない）

- 移動、出荷前に出荷豚の健康状態を確認しましょう
- 死亡豚、排泄物等の運搬は漏出防止に努めましょう
  - ・ 伝染性疾病を発症している豚や死体を移動することは、感染を広める原因となります。また、多くの感染症が、排泄物から感染する可能性があります。

※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

**T E L : 0577-33-1111 (内線402)**

F A X : 0577-32-9019

# 消毒効果を上げる要素！

1. 消毒剤の濃度  
薄いと効果も低減 → 適正濃度で使用！
2. 消毒液の温度  
温度が高い方が効果的
3. 接触時間  
消毒液との接触時間が長いほど効果大！
4. 有機物の存在  
汚れたまま消毒しても効果が低減！

※ 長靴はきれいに洗ってから消毒しましょう！



消毒前



洗い水槽



踏込消毒槽



消毒後

## 豚コレラに有効な消毒薬

- 畜舎等の消毒は、逆性石けん液や次亜塩素酸ナトリウム
- 車両消毒は、車体を腐食しにくい逆性石けん液、消石灰等
- 日常づかいのアルデヒド系や塩素系消毒薬も有効です。

※ 消毒薬は、酸性とアルカリ性が混ざらないように注意し、適正な濃度で使用